

5年生 外国語科実践例

Unit1 “Hello, everyone.”

Unit2 “When is your birthday?”



『デジタル名刺交換をしよう！』

（自己紹介のまとめ）』

～PowerPointの活用～



もくじ

- ① 授業前の準備
- ② 簡単な単元計画について
- ③ 実際の指導について
- ④ 課題

①授業前の準備

- Unit1 “Hello, everyone”、 Unit2 “When is your birthday?”を教科書を使って指導した。
- 学年団に児童がP Cをどれだけ使えるかヒアリング。

② 簡単な単元計画

- Unit2 “When is your birthday?”まで教科書の内容を指導し終える。
- 「デジタル名刺交換をしよう。」実際のやり方について説明する。
- P Cの使い方を詳しく指導する。
- P Cでデジタル名刺を作る。
- P Cを活用しながら、英語でコミュニケーションを図る。
(デジタル名刺交換)

③ 実際の指導について

- ・ 外国語科における指導済内容

(アルファベット大小、名前、スペル、I like ~.、1~31までの数字、序数、誕生月、季節、I want ~.など。)

- ・ P Cの活用について

- ・ PowerPointの基本動作の指導

→今後の学習単元への発展性を持たせる。

③ 実際の指導について

<キーボード>

- 英語orひらがな入力
(半角/全角ボタン、デスクトップ右下 あ/A)
- Bksp / Del
- 大文字アルファベットの入力 (Shift + アルファベット)

③ 実際の指導について

- 右/左クリック
- 機内モード
- ローマ字タイピング
- Caps Lock
- タブを複数使う
- 画像の検索、保存、貼り付け方法
- Yahoo!きっずの使い方
- Google 翻訳のブックマーク
- 文字を大きくする

デジタル名刺について

<共通理解情報 名刺 = 自己紹介>

- 名前
- 誕生日
- 好きなこと(I like ~.)

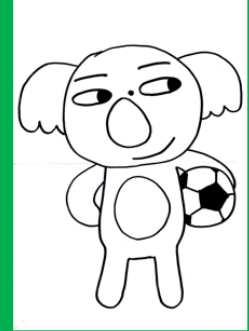
- ➡ 2か月の外国語学習の総まとめとした。
- ➡ 目的語についてはイラストを使用する。

坂本 T のデジタル名刺



Uozaki elementary school
English teacher

～本気、感動、笑顔～



December 13th

I like



指導上の留意点

- ・「**外国語の学習内容**」と「**PCの指導**」を完全に分ける。
- ・あくまでコミュニケーションが目的なので、デジタル名刺のクオリティは高めない。時間内に名刺を作成させる。
- ・イラスト画像（好きなもの）の英語表現は話せるように事前練習、質問するように指導する。
- ・タブレットを見たり、相手とアイコンタクトしたりしてコミュニケーションさせる。

成果

- ・ 英語内容は既習しているため、自信をもって話すことができた。
- ・ 本当に自分が言いたいことを調べて話す機会がもてたので、積極的に活動することができた。
- ・ 学年揃ってP C活用力が伸びた。

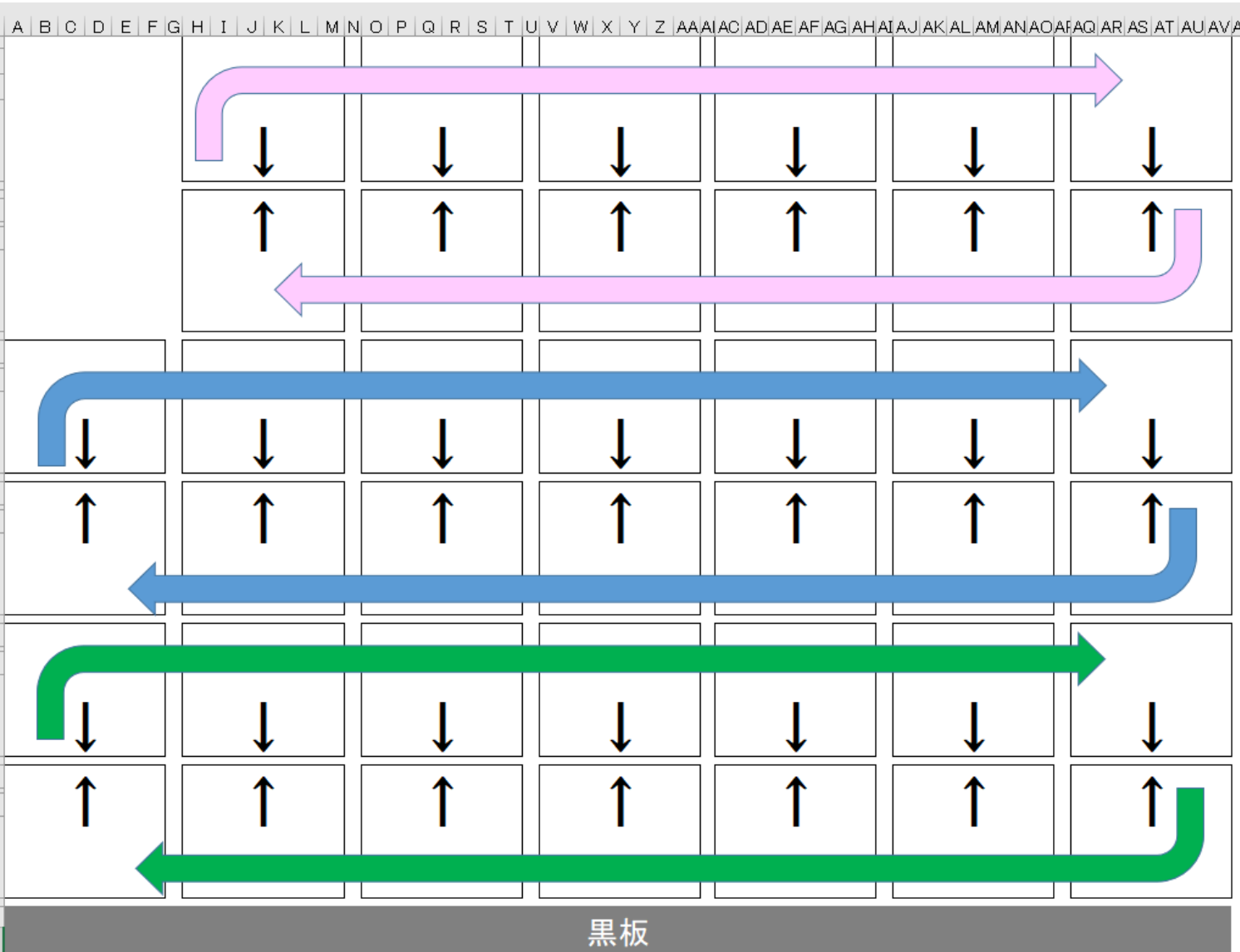
成果

- ・ 友達の新しい一面を知ることができた。
- ・ 自分が友達に本当に伝えたいことを伝えることができた。
(1人1台端末のメリット絶大！！)

実践後の課題

- ・ P Cのバッテリー切れや欠席児童の補習等は全く対応できず、できたところまででデジタル名刺交換をするように指導した。
- ・ 大グループで1つの輪になって順番にズレるよう指導したが、1人トラブルがあると混乱した。

デジタル名刺交換の流れ



- ・前後で向かい合う。
- ・活動が終われば、児童は「向かって左に動く。」

- ・全体を大きく3つに分けた。

- ・欠席児童等空いている机には教師が代わりに入るか児童に詰めてもらって、偶数となるようにした。

※このようにオートマティックに活動させた理由は「**コロナ対策**」のため。
前後1m以上離れ、自由に動くことに制限をかけた。